

# アジア・オセアニア好配当成長株オープン(1年決算型)の運用状況

アジア・オセアニア好配当成長株オープン(1年決算型)  
追加型投信/海外/株式

2020年11月13日

## 【11月は中国経済回復を好感して上昇スタート】

「アジア・オセアニア好配当成長株オープン(1年決算型)」(以下、当ファンド)の11月10日現在の基準価額は、1万口当たり12,683円となりました。年初来の騰落率は1.4%の下落となり、年初の高値13,169円に向けて回復する動きが続いています。

アジア・オセアニア地域の株式市場は、4月以降、各国・地域における景気支援策や経済活動再開への期待などから、反発基調が続いています。10月前半は、中国の景気改善や追加経済対策への期待などから上昇した後、米大統領選を前に様子見姿勢が強まったことから一時的な調整場面が見られました。

しかし、11月に入ってから、中国の10月購買担当者景気指数(PMI)が市場予想を上回るなど、中国経済の回復を好感する動きが強まっており、上昇基調が継続しています。

## 【組入上位銘柄の変化について / 銀行株からネット関連株にシフト】

当ファンドが主要投資対象としている「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド(適格機関投資家専用)」のマザーファンド(以下、マザーファンド)では、2019年から2020年にかけて銀行など金融株のウェイトを引き下げるとともに、業績拡大が期待されるテクノロジー関連やネット関連の成長株のウェイトを段階的に引き上げました。

足元では、安定的な配当収入が見込まれる好配当株の組入れを保つことによってマザーファンド全体の配当利回り水準を考慮するとともに、テクノロジー関連やネット関連などの成長株のウェイトを高めることによって中長期的な値上がり益の獲得を目指した運用を行っています。今年に入ってから、次ページ以降で紹介する「世界を再構築するテクノロジーの5つのトレンド」の中で、収益を着実に伸ばすと期待される成長株のウェイトを引き上げています。

### 「マザーファンド」における組入上位10銘柄の変化

2018年12月末

順位	銘柄名	国・地域名	業種	比率
1	テンセント・ホールディングス	香港	メディア・娯楽	5.8%
2	TSMC/台湾セミコンダクター	台湾	半導体・半導体製造装置	4.7%
3	中国建設銀行	香港	銀行	4.2%
4	サムスン電子	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.0%
5	中国銀行	香港	銀行	2.8%
6	中国工商银行	香港	銀行	2.6%
7	ANZ銀行グループ	オーストラリア	銀行	2.3%
8	CKハチソン・ホールディングス	香港	資本財	2.3%
9	チャイナ・モバイル	香港	電気通信サービス	2.3%
10	ウエストバック銀行	オーストラリア	銀行	1.9%

2019年12月末

順位	銘柄名	国・地域名	業種	比率
1	テンセント・ホールディングス	香港	メディア・娯楽	6.9%
2	TSMC/台湾セミコンダクター	台湾	半導体・半導体製造装置	5.5%
3	サムスン電子(優先株)	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.3%
4	中国建設銀行	香港	銀行	3.5%
5	チャイナ・モバイル	香港	電気通信サービス	2.5%
6	招商銀行	香港	銀行	2.3%
7	CKハチソン・ホールディングス	香港	資本財	2.3%
8	サムスン電子	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.2%
9	ウッドサイド・ペトロリアム	オーストラリア	エネルギー	2.1%
10	シンガポール・テレコム	シンガポール	電気通信サービス	2.1%

2020年10月末

順位	銘柄名	国・地域名	業種	比率
1	アリババ・グループ・ホールディング	香港	小売	9.0%
2	テンセント・ホールディングス	香港	メディア・娯楽	8.3%
3	TSMC/台湾セミコンダクター	台湾	半導体・半導体製造装置	7.0%
4	サムスン電子	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.3%
5	中国平安保険(集団)	香港	保険	2.6%
6	JDドットコム	香港	小売	2.5%
7	サムスン電子(優先株)	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.2%
8	招商銀行	香港	銀行	2.2%
9	BHPグループ	オーストラリア	素材	2.2%
10	ニュー・オメガ・テクノロジー&インフラグループ(ADR)	アメリカ	消費者サービス	2.2%

※テクノロジー関連株やネット関連株を青、金融株を赤の網掛けでそれぞれ表示。なお、国・地域名は、当該銘柄の主要な金融商品取引所の所在国・地域を表記。(出所) イーストスプリング・インベストメンツ株式会社のデータより岡三アセットマネジメント作成

本資料における銘柄への言及は、情報提供を目的とするものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「アジア・オセアニア好配当成長株オープン(1年決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 【世界を再構築するテクノロジーの5つのトレンド】

新型コロナウイルスの感染拡大は、新しいテクノロジーの普及を加速させました。人々が教育、仕事、買い物、娯楽などをオンライン化していく中で、世界の今後を再構築するであろうテクノロジーの5つのトレンドについてご紹介します。

### ① 学習スタイルの変化／オンライン教育市場の拡大

新型コロナウイルスの感染拡大後、オンライン学習があらゆる年齢層に教育を提供するための費用対効果の高い方法として注目されています。次世代通信規格の5Gの普及による後押しを受けて、中国のオンライン教育市場では総売上高が2023年には6,960億人民元に達し、2020年予測値の2倍以上に拡大すると予測されています。

中国のオンライン教育市場の規模  
(2013年～2023年)

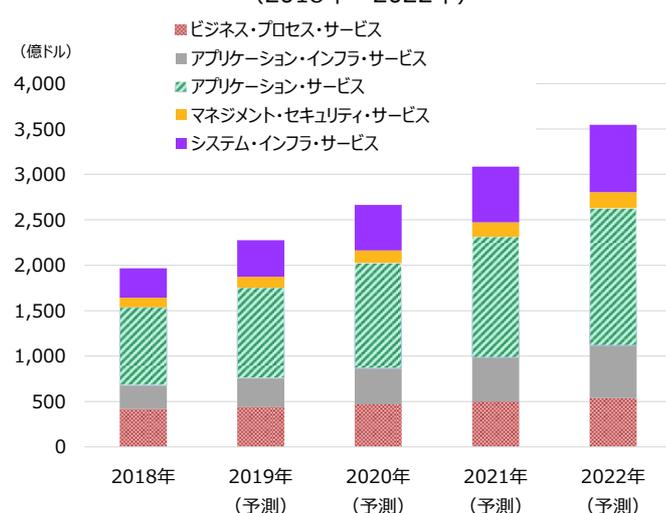


(出所) イーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)のデータ(2020年2月時点)より岡三アセットマネジメント作成

### ② アジアのクラウド市場の拡大

現在、世界中の企業のテクノロジー関連支出の3分の1以上は、クラウドのインフラ構築関連が占めると言われています。世界のクラウドサービス市場は2020年から2022年にかけて年15%ペースの成長が見込まれています。中国の同市場では、アリババ、テンセント、バaiduの3大企業が豊富な資金力や認知度の高いブランド力によってリーダーとしての地位を確立しています。

世界のクラウド・サービス市場の規模  
(2018年～2022年)



(出所) イーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)のデータ(2019年11月時点)より岡三アセットマネジメント作成

### ③ データセンター需要の高まり

クラウド、5G、IoT(モノのインターネット)の導入が進むにつれ、データセンターの需要が高まっています。これまで米国や中国の大手IT企業はシンガポールにおいてデータセンター事業を展開しており、同国は世界で最も成長の著しい市場の一つとなっています。また、最近ではシンガポールに加えてインドネシアやマレーシアでもデータセンター設立の動きが見られます。

#### ＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

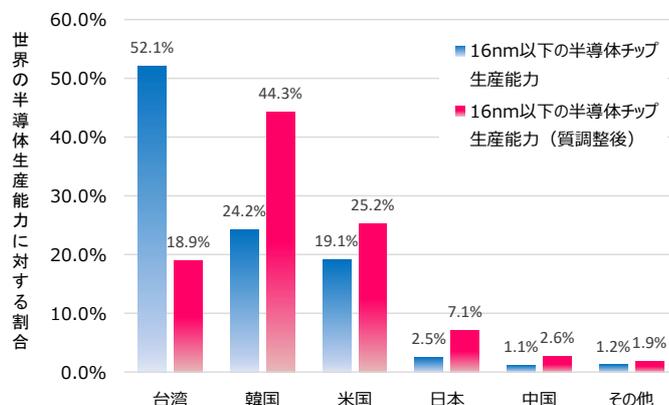
■本資料は、「アジア・オセアニア好配当成長株オープン(1年決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**アジア・オセアニア好配当成長株オープン(1年決算型)  
追加型投信／海外／株式**
**④産業用ロボットの需要の高まり**

新型コロナウイルスの感染拡大により、国際間のヒト・モノの動きは大きな制約を受けました。特定の国や取引先から集中して部品や資材などを調達していた企業は、生産活動に支障が生じたため、調達先を分散させる動きを強めています。部品や資材の製造・供給者にとっては、生産地を分散させなければならなくなり、産業用ロボットの需要が拡大しています。また、生産現場の「三密」対策のうえでも、労働者を減らし産業用ロボットに置き換える動きが出てくると考えられます。

**⑤5Gネットワーク・インフラ市場の競争**

世界経済に大きな影響を与えると見込まれる5G(第5世代移動体通信システム)の分野では、米国と中国の技術開発競争が激化しています。中国では、5Gのインフラ投資の拡大によってプリント基板(PCB)や無線周波数(RF)部品の需要が大幅に拡大すると見込まれ、中国の機器メーカーや部材供給企業は大きな恩恵を受けると見られます。

**世界における16nm以下の半導体の生産能力割合  
(本社拠点ベース)**


※1nm(ナノメートル)=百万分の1ミリ

※質調整後：高品質な半導体チップに対する比重をより大きくして算出

(出所) イーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)のデータ(2019年5月時点)より岡三アセットマネジメント作成

(作成：運用本部)

**<本資料に関してご留意いただきたい事項>**

■本資料は、「アジア・オセアニア好配当成長株オープン(1年決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



アジア・オセアニア好配当成長株オープン(1年決算型)  
追加型投信／海外／株式

アジア・オセアニア好配当成長株オープン(1年決算型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。ファンドは、アジア（日本を除く）・オセアニア地域の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
  - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」があります。その他の変動要因としては「金利変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
  - 投資信託は預金商品、金融債、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
  - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが見込まれる場合も同様です。
  - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
  - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.30%（税抜3.0%）  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
  - 換金手数料：ありません。
  - 信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.3%

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
    - 運用管理費用（信託報酬）  
：純資産総額×年率1.155%（税抜1.05%）
    - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担  
：純資産総額×年率1.76%（税抜1.60%）程度
    - 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
  - その他費用・手数料
    - 監査費用：純資産総額×年率0.011%（税抜0.01%）
  - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用を信託財産で負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的に負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に利率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

**販売会社（1）**

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
アーク証券株式会社	関東財務局長(金商)第1号	○			
藍澤證券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
あかつき証券株式会社	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
今村証券株式会社	北陸財務局長(金商)第3号	○			
岩井コスモ証券株式会社	近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
エイチ・エス証券株式会社	関東財務局長(金商)第35号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
FFG証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第5号	○			
おきぎん証券株式会社	沖縄総合事務局長(金商)第1号	○			
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
大熊本証券株式会社	九州財務局長(金商)第1号	○			
東海東京証券株式会社	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
内藤証券株式会社	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
長野証券株式会社	関東財務局長(金商)第125号	○			
中原証券株式会社	関東財務局長(金商)第126号	○			
西日本シティTT証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
ひろぎん証券株式会社	中国財務局長(金商)第20号	○			
北洋証券株式会社	北海道財務局長(金商)第1号	○			
丸國証券株式会社	関東財務局長(金商)第166号	○			
水戸証券株式会社	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
むさし証券株式会社	関東財務局長(金商)第105号	○			○
明和証券株式会社	関東財務局長(金商)第185号	○			
山和証券株式会社	関東財務局長(金商)第190号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三京証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○		○	
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			

**販売会社 (2)**

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(登録金融機関)</b>					
株式会社イオン銀行	関東財務局長(登金)第633号	○			
大阪信用金庫	近畿財務局長(登金)第45号				
帯広信用金庫	北海道財務局長(登金)第15号				
株式会社神奈川銀行	関東財務局長(登金)第55号	○			
北おおさか信用金庫	近畿財務局長(登金)第58号				
株式会社西京銀行	中国財務局長(登金)第7号	○			
株式会社佐賀共栄銀行	福岡財務支局長(登金)第10号	○			
株式会社静岡中央銀行	東海財務局長(登金)第15号	○			
株式会社島根銀行	中国財務局長(登金)第8号	○			
株式会社荘内銀行	東北財務局長(登金)第6号	○			
城北信用金庫	関東財務局長(登金)第147号	○			
株式会社仙台銀行	東北財務局長(登金)第16号	○			
株式会社第三銀行	東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社第四銀行	関東財務局長(登金)第47号	○		○	
株式会社千葉興業銀行	関東財務局長(登金)第40号	○			
株式会社中京銀行	東海財務局長(登金)第17号	○			
株式会社東北銀行	東北財務局長(登金)第8号	○			
株式会社徳島大正銀行	四国財務局長(登金)第10号	○			
株式会社栃木銀行	関東財務局長(登金)第57号	○			
株式会社トマト銀行	中国財務局長(登金)第11号	○			
株式会社富山第一銀行	北陸財務局長(登金)第7号	○			
長野信用金庫	関東財務局長(登金)第256号	○			
西中国信用金庫	中国財務局長(登金)第29号				
株式会社東日本銀行	関東財務局長(登金)第52号	○			
株式会社百十四銀行	四国財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社福岡中央銀行	福岡財務支局長(登金)第14号	○			
福岡ひびき信用金庫	福岡財務支局長(登金)第24号	○			
株式会社福島銀行	東北財務局長(登金)第18号	○			
株式会社福邦銀行	北陸財務局長(登金)第8号	○			
株式会社豊和銀行	九州財務局長(登金)第7号	○			
株式会社北越銀行	関東財務局長(登金)第48号	○		○	
株式会社北都銀行	東北財務局長(登金)第10号	○			
株式会社北洋銀行	北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社みちのく銀行	東北財務局長(登金)第11号	○			
株式会社宮崎太陽銀行	九州財務局長(登金)第10号	○			
株式会社琉球銀行	沖縄総合事務局長(登金)第2号	○			

(注)販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)